

第3学年1組 国語科学習指導案

平成22年9月15日(水)

1 単元 「つな引きのお祭り」

2 単元の目標

- 教材文の話題に興味を持ち、進んで内容を読もうとし、グループの作品作りに積極的に参加することができるようにする。 【関心・意欲・態度】
- 調べたお祭りについて紹介したいことや、作品作りで工夫したことを中心に発表することができるようにする。 【話す・聞く能力】
- 伝えたいことの中心をはっきりさせて文を書いたり、作品の作り方を工夫したりすることができるようにする。 【書く能力】
- ◎ それぞれのお祭りについて、内容をただしく読み取ることができるようにする。 【読む能力】
- 単元内の新出漢字や読み替え漢字、難しい意味の言葉を中心に、国語辞典や漢字ドリルを活用し、家庭学習も利用しながら学習していくことができるようにする。

【言語についての知識・理解・技能】

3 指導観

- 本単元は、学習指導要領「A話すこと・聞くことアイウ」「B書くことアイウエオ」「C読むことアイオ」「言語事項ア(ア)イ(ア)ウ(ア)(イ)オ(イ)カ(ア)」に基づいて設定されている。本単元では、それぞれのお祭りごとに書かれている内容に気をつけて教材を読み取り、学習したことをもとに色々なお祭りや行事について調べ、かべ新聞やポスターの作品にして紹介する。作品作りを通して、調べたことを分かりやすく書く力を身につけることがねらいである。

この時期の児童は、興味や関心を持つ範囲が広がり、身の回りで起こった出来事を積極的に伝えようとするようになる。こうした時期をとらえ、身近な地域の祭りや行事を取り上げ、それらを紹介することは、児童の伝えたいという意欲を十分に引き出すとともに、よりよい伝え方について考えるきっかけとなる。また、2年生の11月の単元では、調べたことをクイズにまとめる活動を行い、本単元はこれを受けて設定した。そして、4年11月の単元ではまとまりごとに文章を読み取り、調べたことをパンフレットにまとめる活動へと発展する。系統的な説明文単元の学習によって、教材文を読み取る力を高め、段落相互の関係を考えたり、調べたことや自分の考えのよりよい伝え方を知ったりすることによって、学習効果の高まりが期待できる。そして、このような系統的な学習をスパイラル的に行っていくことは、本校の教育目標である「自ら考え、心豊かで、たくましく気概のある児童の育成」につながり、意義深い。

- 本学級の児童(男子15名、女子17名、計32名)は、明るく個性的であり、男女が協力して学習に取り組んでいる。読書を好んでいる児童が多く、調べ学習においては非常に意欲的に取り組む児童が多い。書くことについては、ある程度自分の考えをまとめ、整理して書くことができる。しかし、教材文の意味をとらえて滑らかに音読したり、自分の考えを堂々と発表したりする児童は限られている。教材文を正確に「読む」ために、事前に2年生の説明文を活用して1分間で何文字読めるかの音読調査と意識調査を行った。

結果については、以下の通りである。

<p>【1分間音読調査 32名】</p> <p>☆ 2年生説明文単元</p> <p>○100文字以下 . . . 1名</p> <p>○100～200文字 . . . 10名</p> <p>○200～300文字 . . . 12名</p> <p>○300～400文字 . . . 9名</p>	<p>【意識調査 32名】</p> <p>☆ はじめてお話を読むとき、書いてある内容がよくわかりますか。</p> <p>○よく理解している . . . 10名</p> <p>○まあまあ理解している . . . 19名</p> <p>○あまり理解していない . . . 3名</p> <p>○理解できていない . . . 0名</p>
--	--

音読調査からは、音読には個人差が大きく、他の児童の模範になる児童も多いが、個別の支援を要する児童も多いことが分かる。また、教材文の読み取りに関しては、90%以上の児童が「理解している」という意識を持っていることが分かる。

- そこで指導にあたっては、「出会う」の段階で高岡の祭りについて知っていることを尋ね、教材文の内容である「祭り」について興味・関心を持たせる。そして、教材文の最後に地域のお祭りや行事について調べ作品を作ることを説明し、学習全体の流れを明確に意識付けして進めていきたい。

「深める」の段階では、3つのお祭りについて「あらかし」「準備」「綱引きの様子」「由来」を読み取る。その際、正確に内容を読み取るために、音読を重視して読み取りを進めていく。学級のスローガンを「3の1すらすら音読」とし、クラス全員で何に気をつけて音読していくのかを話し合う。そして、「1分間すらすら音読」を学習の中で効果的に取り入れ、学習カードに毎時間の記録を書くことで音読の力を客観的に数値化し、意識して取り組んでいく。また、からだ読みやグループ読み等様々な音読を行い、読み取りに生かしていく。そして、読み取った綱引きのお祭りの紹介を、かべ新聞の形にまとめる。

「広げる」の段階では、グループ毎に調べる内容や調べ方を話し合い、高岡のお祭りや行事について調べる。地域の方にインタビューしたり、資料を読んだりして調べていく。その際、取材メモを取り入れ、児童が調べたことを整理していけるよう支援したい。そして、ポスター等の作品にまとめ、書いた作品を互いに読みあい、感想を伝えあう。その際も、音読の練習を取り入れ、自分の作品を堂々と友達に伝えられるようにする。

本時の学習では、「つかむ」段階で刈和野の綱引きの4つの内容を思い出させ、本時は刈和野の綱引きの学習を行うことを確認する。そして、1分間すらすら音読を行い、どれぐらい音読できるかを確かめる。「見通す」段階では、前時に続いて「綱引きの様子」「由来」の2つについて学習を進めていくことを知らせる。「調べる」の段階では、グループ読み、からだ読みを取り入れながら2つの内容について学習する。その際、キーワードにサイドラインを引かせ、大切な言葉に注目させ、ワークシートにまとめながら読み取らせたい。「深める」段階では、クラス全体で読み取りの内容を話し合い、友達のまとめ方のよい点を見つけさせ、確かな読みへとつなげたい。「まとめる」段階では、確かめ読みを行うことで、本時の振り返りとしたい。また、本時の活動を称賛し、次時へとつなげていく。

このように、33人全員が単元全体を通して、音読の練習から読み取り・作品作りとつなげていき、生き生きと学習活動に取り組ませていく。音読が上手な児童が模範になったり、互いに良さを認め合ったりしていくことで、一人一人に自信が生まれ、様々な教育活動に良い影響が出ると考えられる。このような学習活動を意図的に展開していくことが、めざす児童像「音読の楽しさを感じ、自信をもって正しく読める児童」につながると思われる。

4 指導計画（全20時間）

段階	おもな学習内容及び学習活動	時間	音読活動	評価計画
出 会 う	1 「つな引きのお祭り」を読み、初めて知ったことや詳しく知りたいことを発表する。	1	範読 追い読み 微音読	○ 綱引きのお祭りに興味を持ち、初めて知ったことや詳しく知りたいことを探そうとしている。
	2 調べてみたいお祭りや行事について考え、学習の見通しを立てる。	1	追い読み 微音読 一文読み	○ 課題意識を持って学習計画を立てようとしている。
	3 新出漢字や難しい言葉を学習する。	2	一斉読み 一分間読み 音読ゲーム	○ 新出漢字や難しい言葉の使い方を意欲的に調べようとしている。
深 め る	4 3つの綱引きが紹介されていることをとらえ、教材文のおおまかな文章構成を理解する。	2	一斉読み 一分間読み サバイバルゲーム	○ 綱引きが行われている場所を手がかりに、「つな引きのお祭り」の大まかな文章構成を理解している。
	5 刈和野の綱引きを4つの内容に分けて、書かれていることを読み取る。	2 8/20 (本時)	一斉読み 一分間読み グループ読み からだ読み	○ 刈和野の綱引きについて、何が書かれているかを読み取っている。
	6 真栄里、宝木の綱引きを、内容毎に分けて、書かれていることを読み取る。	2	一斉読み 一分間読み グループ読み	○ 真栄里、宝木の綱引きについて、何が書かれているかを読み取っている。
	7 綱引きのお祭りの様子をかべ新聞にまとめる。	2	一分間読み 一斉読み	○ 教材文から大事なところをまとめ、かべ新聞の形に書いている。
広 げ る	8 紹介したいお祭りや行事を決め、グループに分かれて作品作りの計画を立てる。	1	一分間読み	○ 作品作りのために、自分の考えを整理してはっきり伝え、進んで話し合っている。
	9 自分たちで考えた方法で取材をし、分かったことを取材メモに整理する。	2	一分間読み	○ 尋ねたいことを中心に気をつけて質問し、情報を取捨選択して取材メモを書いている。
	10 お祭りや行事を紹介する作品の下書き・清書をする。	3	一分間読み	○ 伝えたいことを中心にはっきりさせて文を書いたり、作品の作り方を工夫したりしている。
	11 完成した作品を読み合い、それぞれの良さを伝え合う。	1	一分間読み	○ 紹介したことや工夫したことを中心に作品の発表をしている。
	12 これまでの学習を振り返り、感想を書く。	1	一斉読み 一分間読み	○ 学習活動を振り返って、学習の成果を確認しようとしている。

5 本時の目標

- 刈和野の綱引きについて、何が書かれているかを読み取ることができる。

【読む能力】

6 指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	準備・資料
つかむ	<p>1 本時の学習について話し合う。</p> <p>○ 刈和野の綱引きの4つの内容を思い出させ、本時へとつなげる。 (一分間読み)</p> <p>刈和野のつな引きの様子を調べよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の刈和野の綱引きの様子を発表させ、本時学習の動機付けとする。 ・ 一分間読みを行わせることで、学習を活性化させると共に、さらに刈和野の綱引きについて興味・関心を持たせたい。 	<p>刈和野の綱引きの拡大図</p> <p>すらすら音読カード</p>
見通す	<p>2 学習の見通しをもつ。</p> <p>○ 刈和野の綱引きを内容毎に分けて読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 綱引きの様子 ・ 由来 <p>(一斉読み)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 形式段落⑦～⑩を読み、刈和野の綱引きを2つの見出しをつけて内容を整理させたい。その際、前時までの「あらし」「準備」に続いていることに気付かせる。 ・ 一斉読みをすることで、音読が苦手な児童も教材文を耳で聞き、一緒に感じることができるようになる。 	<p>フラッシュカード</p>
調べる	<p>3 刈和野の綱引きの様子について調べる。</p> <p>○ キーワードにサイドラインを引きながら、形式段落毎に読み取り、まとめていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 綱引きの様子⑦～⑩ ・ 由来⑩ <p>(グループ読み・からだ読み)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が内容毎に整理しやすいように、ワークシートを使って思考を支援したい。また、個人→グループへと広げ、お互いの調べたことを紹介し合う。 ・ グループ読み・からだ読み等の音読活動を取り入れることで、さらに読み取りを深めさせたい。 <p>刈和野の綱引きについて、内容を読み取ることができる。(ワークシート)</p>	<p>ワークシート</p>
深める	<p>4 全体でまとめたことを紹介し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラス全体でまとめたことを紹介し合い、友達のとめ方の良い点を見つけさせたい。 	
まとめる	<p>5 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(確かめ読み)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最後に確かめ読みを行わせることで、本時の学習の振り返りとしたい。 ・ 次時は、真栄里の綱引きを学習することを告げ、学習意欲を高める。 	

